

川高の進路指導

第一志望への現役合格に向けて！
～合格後の活躍も見据えて～

万全の新人試対応

豊富な経験と実績の川高教員が、いま一丸となり、授業研究会や教員相互授業見学を通して授業改善を行っています。これは2021年から始まる新人試に向けてのものであり、生徒間のアクティブ・ラーニングを取り入れながら万全の態勢で学習していきます。また、総合的な探究の時間を利用した表現力養成講座や探究活動、個人ポートフォリオの作成、英語外部検定試験の全員受験など、新人試に対応したカリキュラムを実施していきます。

鍛えるべき3つ学力観

深く学ぶ

(learn in depth)

5教科を高次元で突破した川高生だから、その豊かな知識で多科目を縦断し、かつ深い学びが可能となります。

学び合う

(learn through communication)

男子のみの発言しやすい環境で、率直な意見を出し合い、物事を多角的・論理的に考える力が身に付きます。

表現する

(express oneself)

書くこと、発表することを授業(英語を含む)の中で実践し、様々な場面で自己を表現できる力を養います。

未来の変化に打ち勝つ人間に

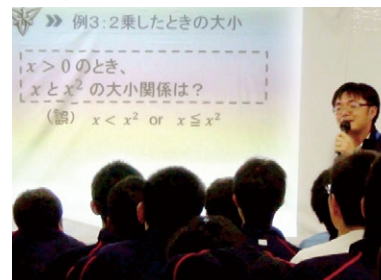
変化の激しい未来に対応できるように、現時点での個々の対処法より、全方位型の学力及び人間力を育成します。必要なその時に、柔軟性と瞬発力をもって活躍できる人間になれるのが川高です。

将来活躍する力をはぐくむ

卒業後も活躍できる力を育てる

川越高校は、大学においても、社会においても、さまざまな状況で力を発揮できる人間の育成を目標としています。そして今、各界でOBが活躍しています。

現在、徹底的にこだわっていることは高い志に基づく第一志望大学への現役合格です。川高生一人一人の志を育成し、その優秀な能力をさらに鍛え上げていきます。1年生の段階から効果的な取組を導入し、生徒・保護者の希望を高い次元で実現できる進路指導を展開しています。



くすのき宿泊研修



大学見学(東京大学)



合格者受験体験懇談会



OBによる難関大懇談会(東工大)

2019年度の主な進路行事

1年生	くすのき宿泊研修(4月) 保護者対象進路学習会(5月・11月) 実力テスト(6月・9月・11月) 学年別進路講演会(7月) 難関大説明会(7月) 夏季講習(7~8月) 大学見学・キャンパスツアー(7~8月) 河合塾全統記述模試(8月) 三者面談(11月) 河合塾全統記述模試(2月) 学部学科懇談会(3月) 自主ゼミ(通年)
2年生	実力テスト(6月・9月・11月) 保護者対象進路学習会(7月・11月) 学年別進路講演会(7月) 夏季講習(7~8月) 大学見学・キャンパスツアー(7~8月) 河合塾全統記述模試(8月) 3年生0学期始業式(11月) 三者面談(11月) 河合塾共通テスト対策模試(1月) 河合塾全統記述模試(2月) 合格者受験体験懇談会(3月) 自主ゼミ(通年)
3年生	駿台全国判定模試(5月) 保護者対象進路学習会(5月・11月) 実力テスト(6月・9月・11月) 学年別進路講演会(7月) 駿台全国マーク模試(7月) 夏季講習(7~8月) 大学見学・キャンパスツアー(7~8月) 河合塾全統記述模試(8月) 駿台・ベネッセ模試(9月・10月) 河合塾センタープレテスト(11月) 三者面談(11月) 駿台センタープレテスト(12月) 自主ゼミ(通年)

平成30年度(令和元年春)合格実績

国公立大学	2019春 合計(現役)	2018春 合計(現役)	2017春 合計(現役)	国公立大学	2019春 合計(現役)	2018春 合計(現役)	2017春 合計(現役)
北海道大	10 (4)	11 (5)	8 (4)	早稲田大	92 (60)	79 (40)	77 (43)
東北大	10 (6)	12 (6)	11 (7)	慶應義塾大	36 (13)	25 (14)	32 (20)
筑波大	14 (11)	5 (3)	10 (6)	上智大	11 (3)	19 (3)	21 (12)
埼玉大	23 (18)	24 (20)	26 (13)	東京理科大	93 (58)	77 (39)	101 (56)
千葉大	6 (3)	7 (5)	6 (6)	明治大	146 (91)	122 (79)	138 (84)
東京大	3	1	1	青山学院大	11 (6)	13 (11)	10 (9)
東京工業大	7 (5)	4 (4)	4 (4)	立教大	51 (30)	49 (26)	59 (36)
一橋大	11 (7)	3	6 (4)	中央大	72 (27)	70 (50)	74 (43)
東京農工大	9 (5)	14 (11)	21 (15)	法政大	85 (38)	84 (53)	53 (21)
東京学芸大	4 (3)	5 (4)	6 (6)	学習院大	13 (4)	14 (11)	15 (6)
東京芸術大	1 (1)	1	1 (1)	芝浦工業大	66 (36)	63 (43)	79 (50)
東京外国語大	5 (3)	4 (3)	2 (1)	私立医学部(医学科)	16	6	5 (1)
東京海洋大	3 (2)	2 (1)	1	その他の大学	348 (150)	291 (143)	299 (127)
電気通信大	2 (1)	3 (1)	3 (1)	合計	1024 (516)	906 (512)	958 (507)
横浜国立大	12 (4)	1	3 (2)				
名古屋大	2 (1)	1	2 (1)				
神戸大	3		1				
京大	1	6 (5)	2 (1)				
大阪大	1	1	2 (2)				
九州大	2 (2)	1					
首都大学東京	8 (5)	10 (8)	5 (3)				
国立医学部(医学科)	7 (1)	4	6 (2)				
その他の大学	38 (13)	24 (13)	28 (13)				
合計	175 (94)	140 (89)	149 (90)				

★運動部でも難関大学合格

文武両道を実現する川越高校では、運動部からの難関大学合格者が多いことも特徴です。運動部と文化部の現役合格率を比較すると、難関大でもそれ以外でも、合格率には変わりありません。部活に全力投球しつつ、日々の授業を着実に自分のものにしていくことで、文武両道は実現されています。

★国公立大志向の高まり

今春の卒業生は、国公立大学進学を志向する者の割合が高かったのも特徴です。進学先の内訳では、現役進学者の約45%が国公立大学へ、約25%が最上位私立大学(早稲田・慶應義塾・上智・東京理科の各大学)へ、約15%がGMARCH(学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政の各大学)へ進学しました。

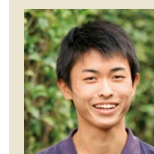
充実した生活を送りながら、
合格を勝ち取った
川高生の声を聞いてみよう!



奥田 祥太郎

東京大学 理科二類
川越市立城南中学校出身

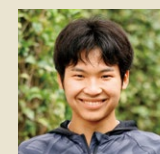
僕にとって川越高校で過ごした三年間はとても充実した楽しいものであり、一生の宝となりました。その自由な校風が川越高校の一番の特徴であり、魅力であるということ、卒業後に強く再確認しました。学校から何かを強制されるのではなく、生徒一人一人が、勉強を頑張るのは当然ながら部活や文化祭、生徒会活動など自分でやると決めたことに全力で取り組める場所です。そのような環境で友人達と一緒に過ごす毎日はとても刺激的で楽しいものでした。男子校という特異な空間でしか経験できない最高の日々を、ぜひ川越高校で過ごしてほしいです。



木場 陽一郎

島根大学 医学部 医学科
川越市立野田中学校出身

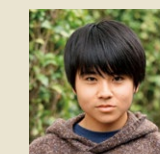
川越高校は「自主自立」の精神の下、いろんなことに挑戦できる最高の環境です。自分は川高で応援部に入り、3年生夏まで川越高校をリードし盛り上げるといった活動に打ち込むことができました。そこで得た経験と最高の仲間たちは一生の誇りであり、今の自分があるのに必要不可欠なものであると思っています。また、同じように様々なことに取り組む川高生一丸となって助け合いながら勉強も部活も行事もやり切ったというのも大切な思い出です。熱意にあふれる仲間とともに好きなことに全力をかけて、最後には肩を組んで笑って校歌を歌える、そんな男だけの青春を川越高校で送ってみたいかがでしょうか?



立松 空

早稲田大学
政治経済学部 経済学科
入間市立上藤沢中学校出身

川越高校の最大の魅力は、校風の「自主自立」です。川越高校では、自分のやりたいこと全てに挑戦することができます。私自身、陸上部、生徒会本部、実委の全てに三年間打ち込み、充実した高校生活を送ることができました。もちろん様々なことに挑戦しなければならないわけではありません。一つのことを極めていくことでも、充実した生活を得ることができます。どのような高校生活にするかは、自分自身の手にかかっています。そして、自分で全てを決めていく中で得る自信は、必ず卒業後も自身を支える力となります。みなさんも、川越高校で最高の高校生活を創りあげてみませんか。



森田 悠椰

東京工業大学 工学院
富士見市立富士見台中学校出身

私が思う川越高校最大の特徴は、生徒がみな何事にも全力投球するところです。勉強だけではなく、部活や行事にも全力で取り組み、最高の仲間たちと三年間を送ることができます。また男子校ということもあって皆ノリがよく、毎日笑いの絶えない日々を送っています。生徒が一丸となって作り上げるくすのき祭は大いに盛り上がり、勉強面でもわからないところはお互いに教えあうなど、とても良い仲間と環境が川越高校にはそろっています。友と切磋琢磨しあい、自分を高めることができる充実した環境で、一生の宝となる青春を送りましょう。



嶺 裕人

一橋大学 経済学部
所沢市立所沢中学校出身

川越高校では勉強だけに留まらず、様々なことに対して全力を尽くすことができる環境が整っているため、充実した高校生活を送れると思います。部活においてはどんなに引退が遅くなくとも先生たちは最後まで全力でサポートしてくれたり、様々な学校行事においては生徒、先生が一丸となって行事の成功を目指します。これらの活動を通して得られる様々な経験は今後社会に出る際に必ず役立つものであると思います。みなさんも川越高校で勉強も含めて様々なものに「全力投球」をして、素晴らしい高校生活を送っててください。